

みのゝれと同じ20歳、母と臨む大舞台

人が育つ劇場 認められ成長

秋の訪れを知らせるように虫たちの演奏会が賑やかですね。稲穂が黄金色になり収穫の時期を迎えました。お茶碗1杯分は稲2株強のお米が必要になるそうです。11月3日、みのゝれは20歳になります。今回は、みのゝれと同じ20歳で、母娘でみのゝれ住民劇団演劇ファミリーMyuの中核を担う、小川地区出身の武石春空さん取材します。



みのゝれ住民劇団 演劇ファミリーMyu

たけ いし はる か
武石春空さん

みのゝれと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.180

幼稚園年長の頃、母・千絵子さんについてMyuの稽古を見ていたという春空さん。「母と一緒に演劇をやっていたんです。みんなから母娘仲良しだねって言われます」。現在、千絵子さんは作品を創る中核スタッフとなることが多く、Myu全体の稽古を見る立場。家で稽古の話になることもしばしば。「親子だからこそ言える部分もあるので、とても助かっています」と春空さん。

近年はキャスト兼務でダンス指導も務めている春空さん。Myuでは、中学・高校生は年下の子たちの指導を任されるそうで、「自分はこんなふうに教えてもらったからこういうふうに教えてあげようとか、自然に教え方が身につけていました。お姉さんたちの背中を見て育ってきたのが効いているんだなと思います」と振り返ります。春空さんは、自身の成長と共にMyu全体の振付サポートを任されるようになり、2021年3月に上演したミュージカル「わが家の天ぷら」で振付指導をしたとき、千絵子さんや先輩の廣木葵さんから「成長したね」と言われたことがとても嬉しかったそう。

みのゝれ20歳記念住民ミュージカル「黄色い袋と魔法のトンネル」は、2014年10月に上演した作品をリメイクしたもの。「近年、再演することが何度かあって、小さい頃に憧れていた役を演じられるのが嬉しいです」と春空さん。8年前は、中学生になったばかりで部活などの忙しさも考えて出演を見送り、みんなが演じている舞台をスタッフの一人として支えていました。「今作は主役を務めることになって、不思議な感覚で稽古をしています」と感慨深げ。

「みのゝれ20歳記念ミュージカルという大きな公演で、既にチケットが完売という幸せな状況。たくさんの方に観ていただけることに喜びを感じています。見どころは、私たちが演じる小学生4人が仲間割れをしちゃうんですけど、仲直りをして『さあ、行くぞ』って再出発するところです。ランドセル：背負うと思います(笑)」と可愛らしい笑顔で話してくれました。

11月3日(祝)にも春空さんは大舞台の主役を務めます。みのゝれ20歳誕生日企画「リレートーク」で、千絵子さん・春空さん母娘が登壇し、みのゝれやMyuの魅力を語ります。20歳を迎えるみのゝれから目を離せませんね。皆さん、お楽しみに。

(藤田佐知子)